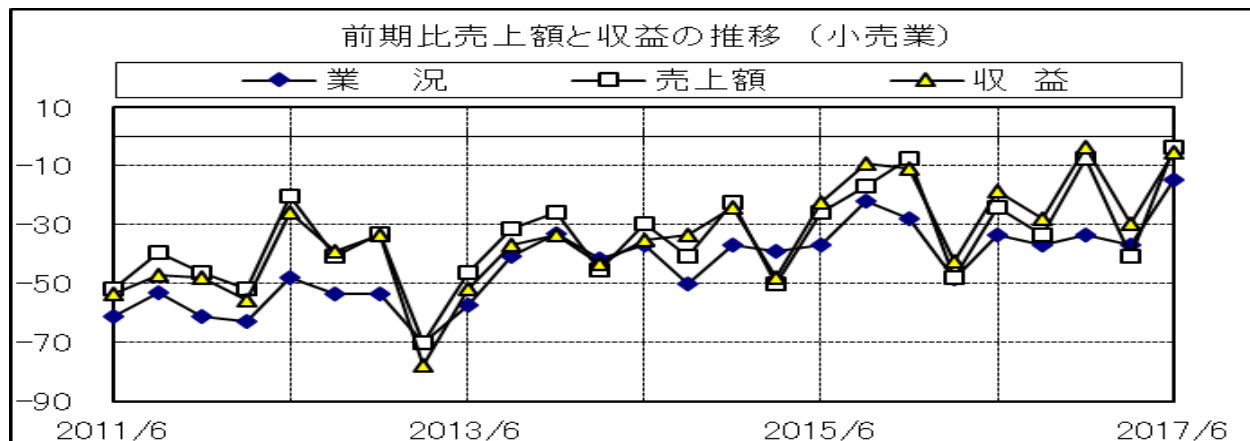


小売業 54企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績
業況	-33.4	-37.0	-14.7	-7.4
売上額	-7.4	-40.7	-3.7	-7.3
収益	-3.7	-29.7	-5.5	-7.3

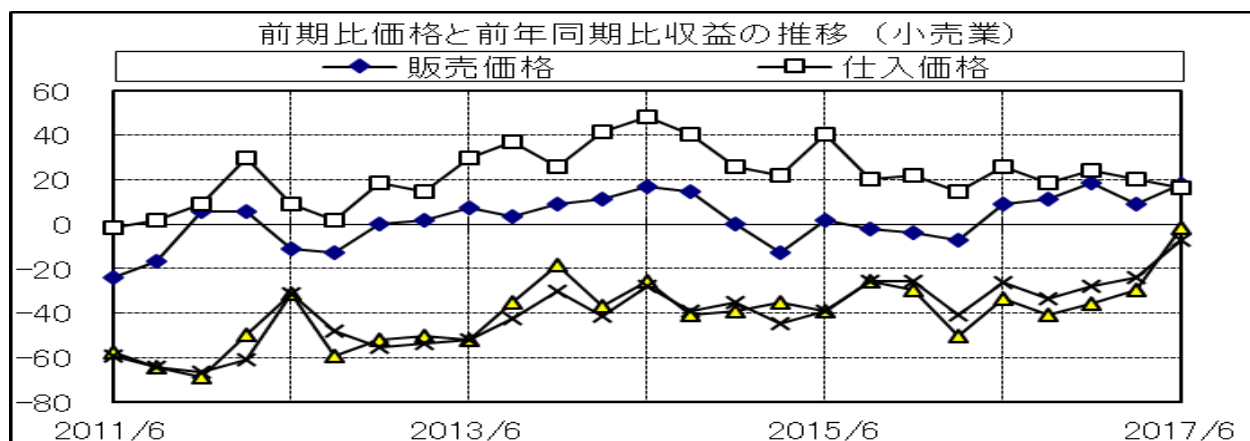
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 14.7$ で、前期比 22.3 ポイント上昇、前年 ($\Delta 33.3$) 比では 18.6 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、静内、広尾、様似、三石、えりもと続き、浦河が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は $\Delta 3.7$ で、前期比 37.0 ポイント上昇。収益判断 D. I. は $\Delta 5.5$ で、前期比 24.2 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
販売価格	18.5	9.2	18.2	14.6
仕入価格	24.0	20.3	16.4	9.1

販売価格判断 D. I. は 18.2 で前期比 9.0 ポイント上昇、前年 (9.2) 比でも 9.0 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 16.4 で前期比 3.9 ポイント下降、前年 (25.9) 比では 9.5 ポイント下降した。業種別では衣料品・家電品で販売・仕入価格ともに下降、食料品は販売・仕入価格ともに上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	-5.6	-16.7	-9.0	-1.8
人手状況	-22.2	-7.4	-25.5	-18.2

残業時間判断 D. I. は $\Delta 9.0$ で、前期比 7.7 ポイント上昇、残業時間が増加したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 25.5$ で、前期比 18.1 ポイント下降、人手不足感が強まった。

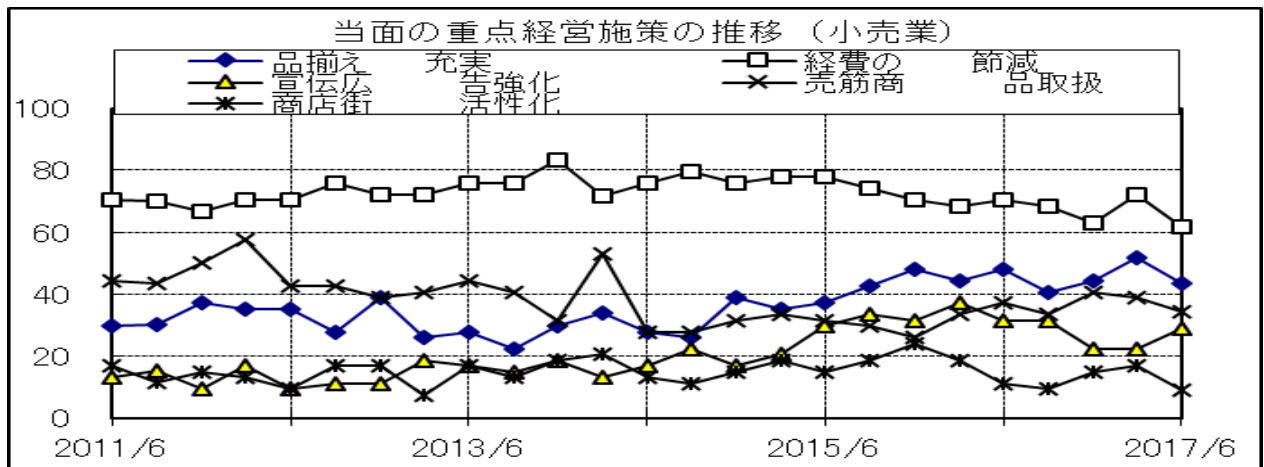
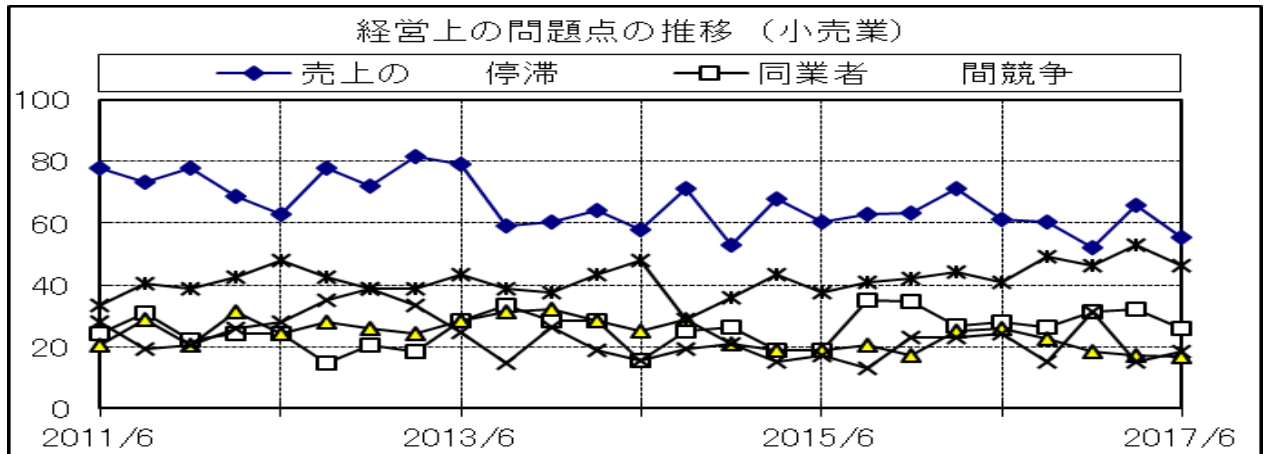
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は $\Delta 16.3$ で、前期(-11.1)比で5.2ポイント下降した。

設備実施企業割合は9.1%で、前期(7.4)比で1.7ポイント上昇した。設備投資は、前期4社に対し、5社の実施となった。来期の設備投資の予定は4社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」55.6%、「商圈人口の減少」46.3%、「同業者との競合」25.9%、「大型店との競合」18.5%、「利幅の縮小」・「人手不足」が同率の16.7%、「取引先の減少」・「商店街の集客力低下」が同率の14.8%と続いている。重点経営施策では、「経費の節減」61.8%、「品揃えを改善する」43.6%、「売れ筋商品取扱」34.5%、「宣伝広告を強化」29.1%と続いた。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は $\Delta 7.4$ と、今期比7.3ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は $\Delta 7.3$ と、今期比3.6ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は $\Delta 7.3$ と、今期比1.8ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D.I.は14.6と、今期比3.6ポイントの下降を見通している。

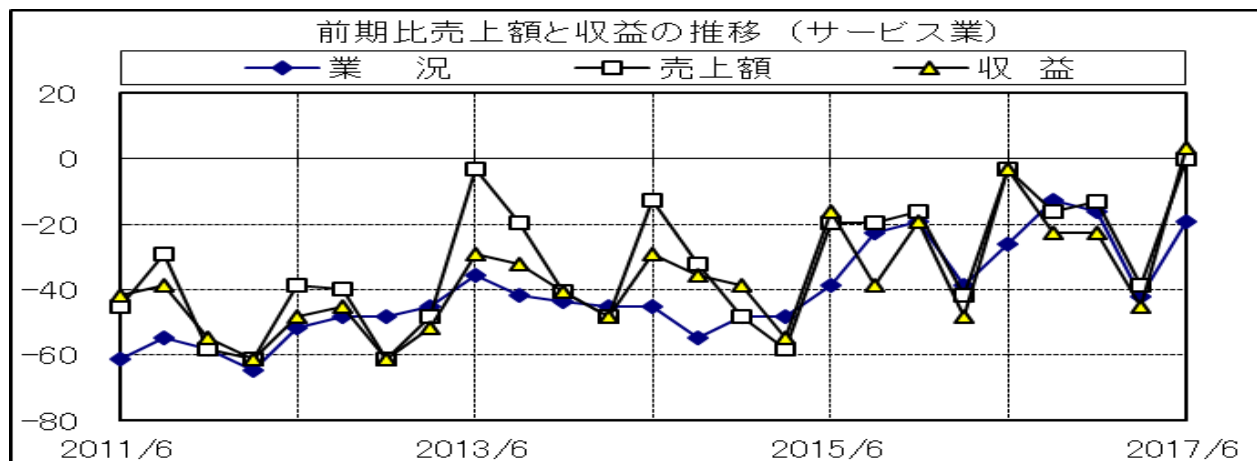
予想仕入価格判断D.I.は9.1と、今期比7.3ポイントの下降を見通している。

サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業 況	-16.2	-42.0	-19.3	-22.5
売上額	-13.0	-38.7	-0.1	-12.9
収 益	-22.6	-45.2	3.3	-6.5

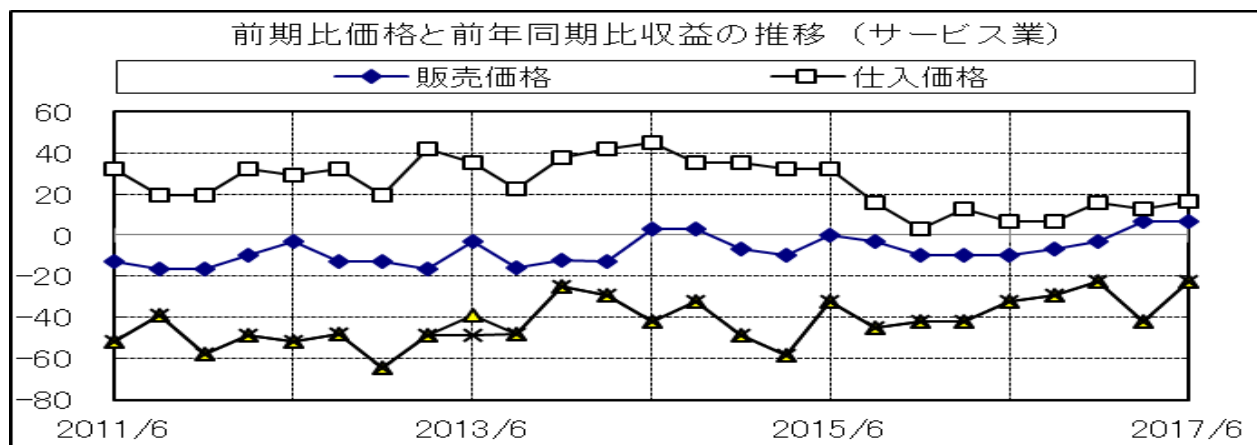
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 19.3$ で、前期比 22.7 ポイント上昇、前年 ($\Delta 25.9$) 比でも 6.6 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、三石、浦河、次に静内・広尾が同率で続き、えりも、様子の順となった。売上額判断 D. I. は $\Delta 0.1$ で、前期比 38.6 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は 3.3 で、前期比 48.5 ポイント上昇した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
料金価格	-3.2	6.5	6.5	3.3
材料価格	16.1	12.9	16.2	16.2

料金価格判断 D. I. は 6.5 で前期と同水準となった。前年 ($\Delta 9.7$) 比では 16.2 ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 16.2 で前期比 3.3 ポイント上昇、前年 (6.4) 比では 9.8 ポイント上昇した。業種別にみると、料金では、旅館業が上昇、自動車整備業が下降した。材料は自動車整備業が上昇し、洗濯理容業が下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	-9.7	-12.9	-12.9	-3.2
人手状況	-22.6	-12.9	-19.3	-19.4

残業時間判断 D. I. は $\Delta 12.9$ で、前期と同水準となり、残業時間に変化はなかった。人手過不足判断 D. I. は $\Delta 19.3$ で、前期比 6.4 ポイント下降、人手不足感が強まった。

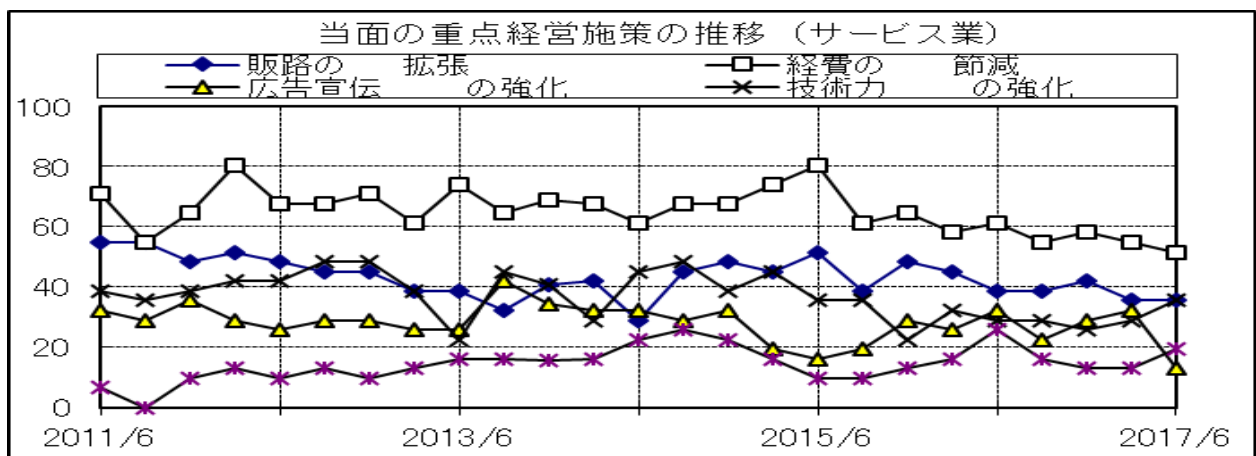
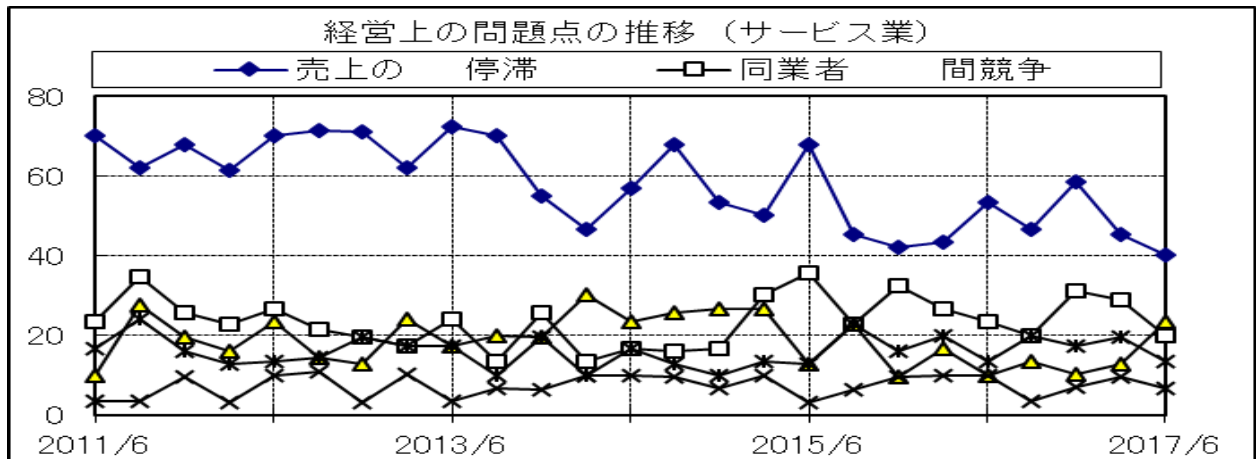
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は $\Delta 12.9$ で、前期と同水準となった。

設備投資実施企業割合は25.8で、前期(19.4)比、6.4ポイント上昇した。設備投資は、前期6社の実施に対し、8社の実施となった。来期の設備投資は7社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「商圏人口の減少」43.3%、「売上の停滞減少」40.0%、「店舗設備の老朽化」26.7%、「利幅の縮小」23.3%、「同業者との競争」20.0%、「人手不足」16.7%、「取引先の減少」・「地場産業の衰退」が同率の13.3%と続いている。重点経営施策では、「経費の節減」51.6%、「販路を広げる」・「技術力の強化」が同率の35.5%、「人材の確保」19.4%、「店舗設備の改善」・「教育訓練の強化」が同率の16.1%、「宣伝公告の強化」12.9%と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は $\Delta 22.5$ と、今期比3.2ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は $\Delta 12.9$ と、今期比12.8ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は $\Delta 6.5$ と、今期比9.8ポイントの下降を見通している。

予想料金価格判断D.I.は3.3と、今期比3.2ポイントの下降を見通している。

予想材料価格判断D.I.は16.2と、今期と同率の横這いを見通している。